

東 中 野 山 ひ ま わ り ク ラ ブ

第 4 建 設 工 事

設 計 施 工 仕 様 書

新 潟 市 こ ど も 未 来 部

こ ど も 政 策 課

1. 概要

工 事 名	◆東中野山ひまわりクラブ第4建設工事
工事場所	◆新潟市東区猿ヶ馬場地内（東中野山小学校敷地内）
敷地条件	◆敷地面積 630.46㎡ ◆地域・地区 市街化調整区域 ◆防火指定等 建築基準法22条区域 ◆建ぺい率 60% ◆容積率 200%
施設概要	◆主要用途 児童福祉施設 ◆軽量鉄骨（プレハブ）造 約120㎡ ◆利用児童数 40名 尚、面積は各メーカーの規格により多少の変動は差し支えないものとする。 ただし、新潟市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例により、児童1人あたり1.65㎡以上の専用区画面積を確保するものとし、それに該当する室を遊戯室及び学習室とする。
工 期	◆契約日～令和5年3月10日まで

2. 設計条件

受注者は、以下の条件を満たす建物の設計を行うものとする。また、施設設置に伴う計画通知等の手続きは受注者の責務で行うものとする。

シックハウス対策は、特記仕様書による。

(1) 建築工事

標準構造	◆軽量鉄骨（プレハブ）造 平屋建（積雪寒冷地仕様） ◆積載荷重は、建築基準法施行令第85条第1項表（3）による。 ◆積雪荷重は、新潟市建築基準法施行細則別表第2とし、単位重量は30N/cm/㎡とする。 ◆構造部材は計算で確かめられた強度以上のものを使用する。 ただし、メーカー仕様により安全・性能が確認された場合はこの限りではない。 ◆延焼の恐れのある部分について、建築基準法に適合させること。 ◆既存の東中野山ひまわりクラブ第3の地耐力の調査結果に基づき当初設計を行うものとする。 ◆当初設計後、地耐力の調査は受注者の責務で行うものとする。また地耐力の不足により地盤補強を必要とする場合は、別途とする。 ◆地耐力の調査により地中埋設物が確認され、撤去等が必要とする場合は、別途とする。（構造部材の変更についても同様）
------	---

詳細は、下記仕様と同等以上のものとする。

【構造材】

構造部材については、構造耐力上支障のある錆または腐れが生じないように対策を講じること。また、構造部材の防錆・防腐処理はメーカー仕様による。

基礎	鉄筋コンクリート造布基礎 床下換気口：鋳鉄製（H170mm×W420mm@2,700程度以下）
土台	軽量鉄骨
大引	木製又は鋼製@910mm程度
床束	木製@910mm程度 束石はコンクリート製又は平板ブロック
柱梁材	軽量鉄骨
床	押出法ポリスチレンフォーム板t=40mm以上を充填 （熱伝導率：0.034w/（m*k）以下）
壁	外部に面する壁はグラスウールt=50mm以上を充填（密度：24kg/m ² ）

【外部仕上材】

外壁	金属サイディング（t=15程度）
屋根	亜鉛メッキ製雪止金物、鼻隠し金物及び出入口部に庇を設置 折板葺 裏面発泡ポリエチレンフォーム（t=4mm程度） 塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金メッキ（t=0.5mm以上）
窓枠	アルミサッシ引違窓（網戸付） ・遊戯室・学習室 有効高さ1,300mm程度 透明強化ガラス（t=4mm） ・事務室 有効高さ1,300mm程度 透明ガラス（t=3mm） ・玄関・ホール 有効高さ1,300mm程度 透明強化ガラス（t=4mm） ・トイレ 有効高さ450mm程度 型板ガラス（t=4mm）
出入り口	・玄関 アルミサッシ引違い戸（網戸付）、有効高さ2,000mm程度 ・勝手口 アルミサッシ片開き戸、有効高さ2,000mm程度 ※必要に応じてシリンダーサムターン錠付(非常用カバー付き) ・共通 上部：透明強化ガラス（t=4mm） 下部：アルミサンドイッチパネル 外部：土間コンクリート段付き （仕上げ：ほうき目引き、段鼻タイル、蹴上160mm程度）
風除室	ポリカーボネート製パネル 物置 W1200×D600×H1400程度（各階1か所）
雨樋	塩ビ製（軒樋、縦樋）

【内部仕上材】

床	<p>床下地材のうえに、下記仕様の仕上げをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室・事務室・ホール 天然木化粧複合フローリング (t=12mm) 床下点検口450角 (アルミ枠、鍵付) ・学習室 畳敷き (ビニール製) D種 一部、天然木化粧複合フローリング (t=12mm) 仕上げ (家具や暖房器具等の設置部分でかつ畳の割り付け上必要な部分) ・その他 ラワン合板 (t=12mm下地) + 長尺塩ビシート (t=2.0mm~2.5mm) ・玄関 土間コンクリート金コテ+長尺シート貼(防滑配慮)、木製上框
壁	<p>軽量鉄骨下地、又は木造下地に下記仕様の仕上げをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関・ホール 石膏ボード12.5mm + 掲示板用ビニールクロス貼り (腰壁：天然木化粧合板貼り t=5mm程度、巾木：塩ビ製) ・遊戯室・学習室 石膏ボード12.5mm + 掲示板用ビニールクロス貼り (腰壁：天然木化粧合板貼り t=5mm程度、巾木：塩ビ製) ・その他室 石膏ボード12.5mm + ビニールクロス貼り (事務室のみ掲示板用ビニールクロス貼りとする) 巾木：塩ビ製 <p>※火気使用室については法的内装制限を満たすこと ※便所内の手洗い器及び小便器が付く壁は化粧ケイ酸カルシウム板仕上げとすること</p>
天井	<p>軽量鉄骨下地、又は木造下地に下記仕様の仕上げをする</p> <p>化粧吸音石膏ボード+グラスウール (t=50mm以上) (密度：24kg/m²)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室・学習室：CH=2,700mm以上 ・その他室：CH=2,400mm以上 <p>※火気使用室については法的内装制限を満たすこと</p>
内部建具	<p>メーカー仕様建具に、下記事項を備えること</p> <p>出入口は木製フラッシュ戸又はアルミ戸 (事務室は鍵付)</p> <p>窓は腰上透明強化ガラス (t=4mm)</p> <p>引き戸には指詰め防止ストッパーを設置し、引き残しを設けること。</p>

【その他】

トイレブース (巾木タイプ)	<p>表面材：ポリエステル化粧合板程度</p> <p>L型手摺を男女とも各1か所ずつ設置</p>
小便器手摺	<p>S U S 製小便器用手すり (T112CU2)</p> <p>樹脂被覆タイプ (W600×D550)</p>
水呑場	<p>水栓5箇所用 (側面・背面バックステンレス貼り)</p>

	下部収納(扉付)、鏡付き (w360×h450 個所/水栓) 床面・家具取り合い部の隙間をふさぐこと
物入れ	表面材：ポリエステル化粧合板 中板可動式 物入れ(1) H900+1000(扉有)+800(扉有)(別図参照) 物入れ(2) H800+1100+800(扉有)(別図参照) ※遊戯室もしくは学習室に1か所設置
道具入れ	表面材：ポリエステル化粧合板 小口：軟質塩ビコーナー材 W350×H330×D400(内法寸法)(別図参照) ※学習室に設置
本棚	表面材：ポリエステル化粧合板 棚板可動式 一部扉有(別図参照) ※学習室に設置
下足入れ	木製、縦仕切り板なし(40人) 下足入れW200×H330×D350、上履棚W200×H170×D220
コート掛	可動式フック(40人)
可動棚	トイレ用具入(鍵付き)
吊り戸棚	事務室、トイレ 表面材：ポリエステル化粧合板 事務室：W1,200×H450×D350程度 内部可動棚3段 トイレ：W1,000×H450×D350程度 内部可動棚3段 取付高さ：下端H1,700程度とする
暖房器具上部カウンター	表面材 ポリエステル化粧合板 ※暖房器具の操作及びフィルタ清掃が可能な構造とする
流し台ユニット	流し台(調理台付)L:1,200程度(流し台廻壁 化粧ケイカル) コンロ台L:600程度(コンロ別途) レンジフード ※事務室に設置
ホワイトボード	W1,800×H900程度 受け皿なし ※遊戯室に設置
壁付扇風機取付用下地	※事務室、遊戯室、学習室に設置
鍵収納ボックス	約30本程度を収納※事務室に設置
カーテン	各室の外壁窓及び遊戯室・学習室の外部出入り口に取り付け 遮光カーテン(SUSカーテンレール(S)共)
※上記寸法は、有効寸法とする。	

(2) 電気設備工事
別紙による。

(3) 機械設備工事
別紙による。

(4) 付帯工事

以下の付帯工事は、本工事と併せて行うものとする。

- ・鉄棒の仮設、復旧
- ・遊具（滑り台高さ 2.8m 程度、周長 31m 程度）の撤去
- ・花壇の移設
- ・遊具（直径 80 c m、長さ 5m 程度の土管が埋設された砂地の丘）の移設
- ・高木および生垣の伐採、伐根
- ・側溝の一部撤去、新設

(5) 共通仕様

- ・本仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事及び各設備工事編）平成 3 1 年版による。
- ・屋外の配管支持金具は、S U S 製とする。

3. 施工条件

- | | |
|-------------|--|
| (1) 施工範囲 | 本工事の範囲は、本仕様書ならびに参考図に示された各工事である。（設計、施工にあたり、都市計画法及び建築基準法及び消防法等、関係法令を遵守すること） |
| (2) 質疑事項の処理 | 設計施工仕様書及び参考図に質疑が生じた場合は、発注者と協議の上で決定し処理をすること。 |
| (3) 工程・工事計画 | 着手に先立ち工程表および施工計画書を提出し、施工計画（仮設計画共）について監督員の承諾を受ける。 |
| (4) 施工図・製作図 | 施工上必要な図面は遅滞なく作成し監督員の承諾を受ける。 |
| (5) 養生 | 施工中損傷の恐れのある既存施設等は、適切な方法で養生するか、または現況復旧すること。（搬入経路共） |
| (6) 安全対策 | 工事スペースおよびその周辺の安全に十分注意し、適切な処置を行った上で施工を行うこと。（現場作業中は、交通誘導員等を常時配置する。） |
| (7) 工事報告 | 工事の進捗に応じ、必要な書類を監督員に提出する。 |
| (8) 工事写真 | 完成後、破壊しなければ検査できない箇所についても施工方法・内容が確認できるものを撮影すること。
撮影に関しては、最新の営繕工事写真撮影要領を参照すること。 |
| (9) 工事関係書類 | 新潟市ホームページ掲載の工事関係書類提出リストを基に提出すること。 |

4. 見積条件

(1) 内訳書

- イ) 内訳書は、指定の様式にて作成するものとする。
- ロ) 内訳書の細目数量は、小数点以下第1位とし100以上は整数とする。
また、端数処理については四捨五入とする。

(2) その他

- イ) 設計見積時には参考図・現場の状況・関係法令を十分考慮の上、設計を行う。
- ロ) 設計見積時に要した費用は全て業者負担とする。
- ハ) 契約後、設計の完了時には、官公庁等の諸手続きを行うこと。
- ニ) 工事内容の変更については、両者協議の上行うものとし、受注者は設計図書の作成に協力するものとする。
- ホ) 契約の締結後に契約の相手方が提出した工事費内訳の合計金額をもって、工事請負契約約款別表中の「設計金額」とする。

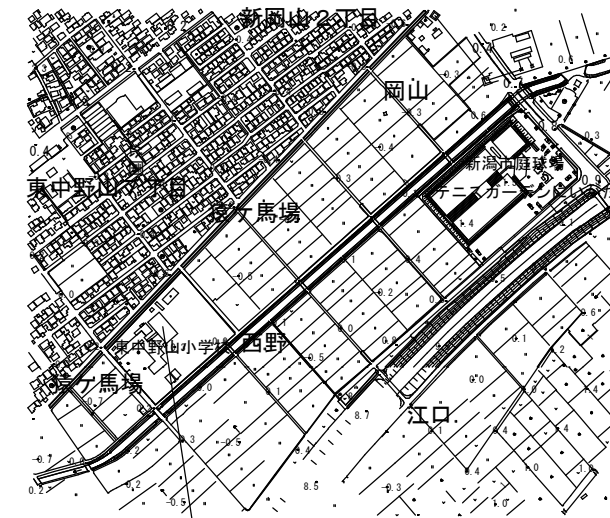
5. 成果品

(1) 主な成果品

	審査図		竣工図		その他
	白図 A3判	データ	製本 A3判 2つ折り	データ	原紙
見積内訳書					1
意匠図（設計概要及び仕上表、面積表及び求積図、敷地案内図、配置図、法チェック表、平面図、断面図、立面図、天井伏図、建具表、詳細図等）	2	1	2	1	
構造図一式	2	1	2	1	
電気設備図一式	2	1	2	1	
機械設備図一式	2	1	2	1	
構造計算書					1
計画通知図書（資料の作成）					2
竣工写真					3
その他					1

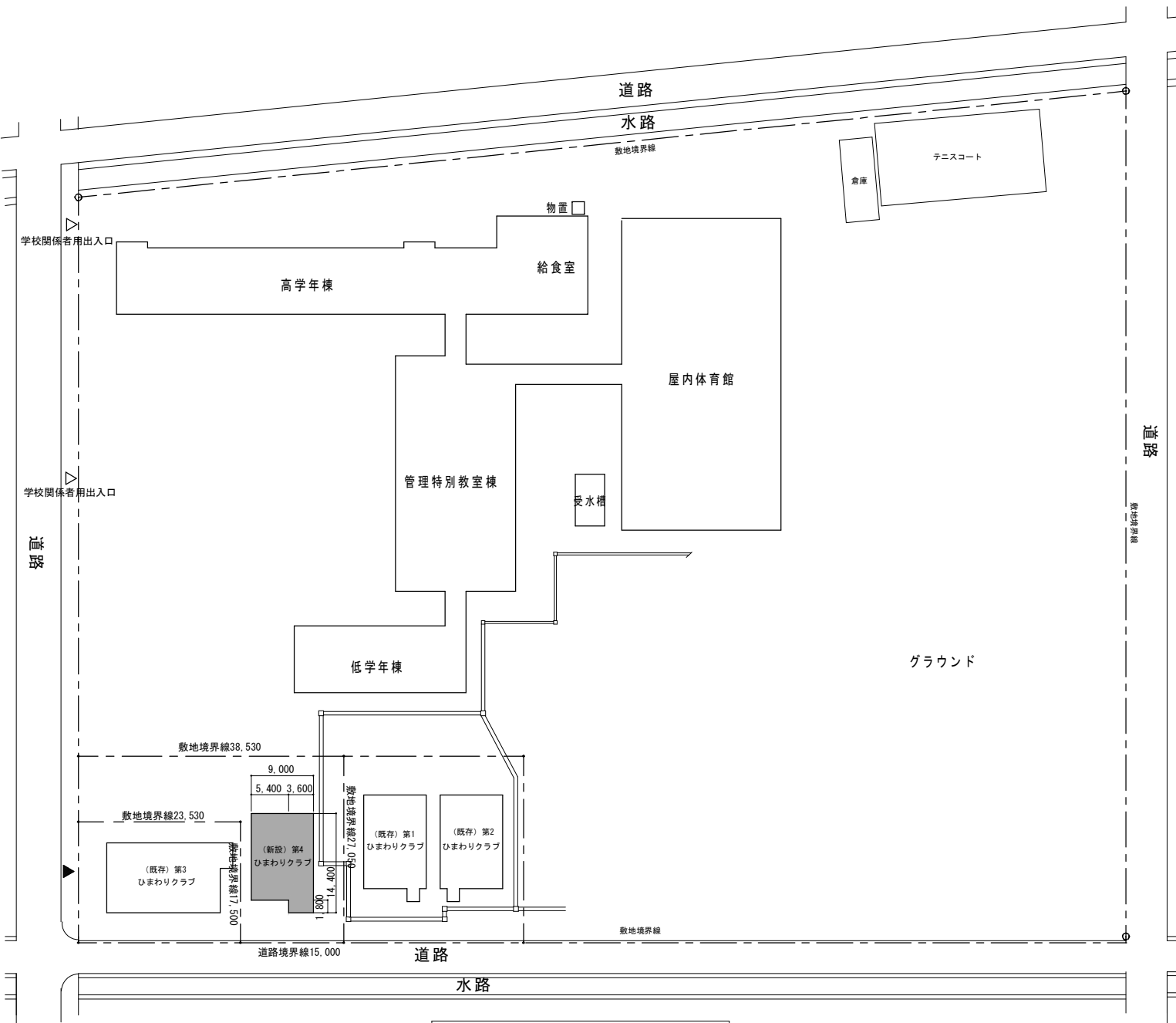
- イ) 成果品の提出場所は、こども未来部こども政策課とする。
- ロ) 審査図は設計時に、竣工図は工事完了時に提出するものとし、提出期限は監督員と協議の上決定し、遅延なく提出するものとする。
- ハ) データは、JWW 及び PDF とする。

工事概要	
工事名称	東中野山ひまわりクラブ第4 建設工事
建設場所	新潟市東区猿ヶ馬場 地内
地域・地区	市街化調整区域
防火地域	建築基準法第22条区域
容積率	200%
建ぺい率	60%
敷地面積	630.462㎡

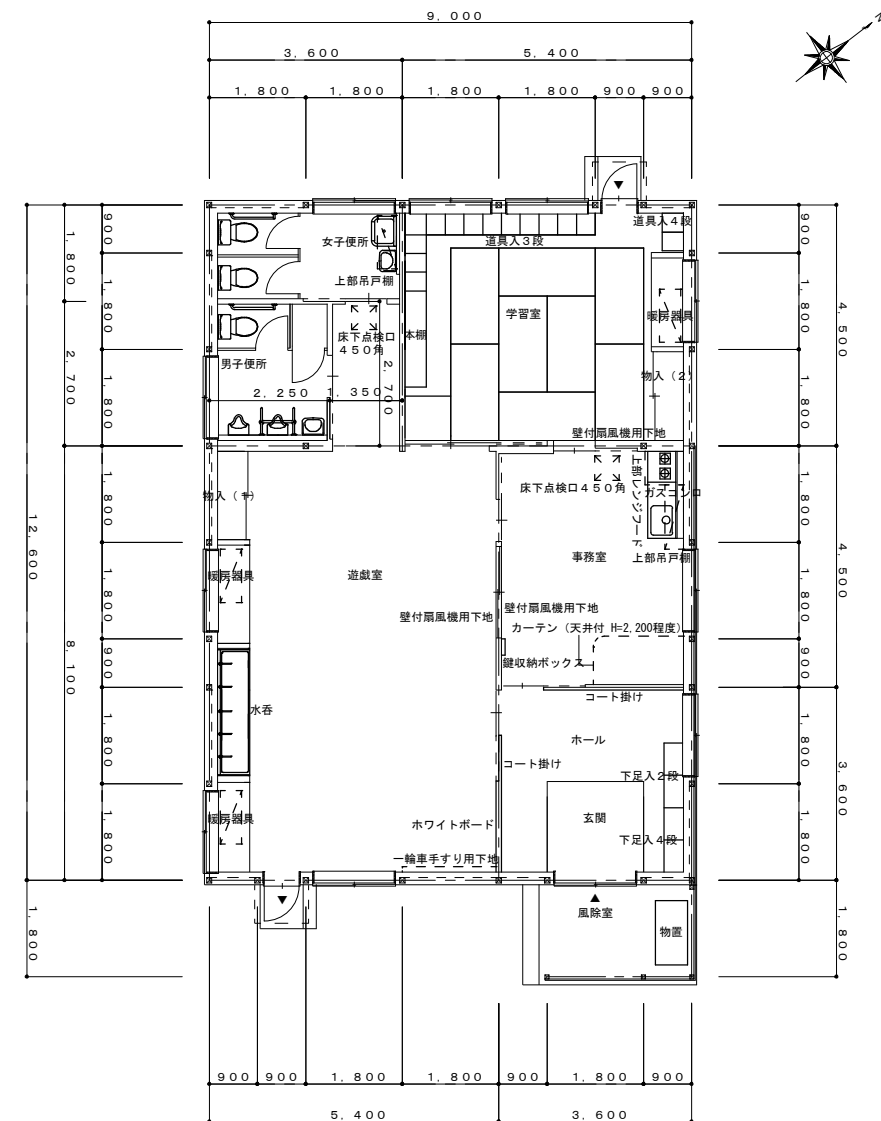


工事場所：東中野山小学校

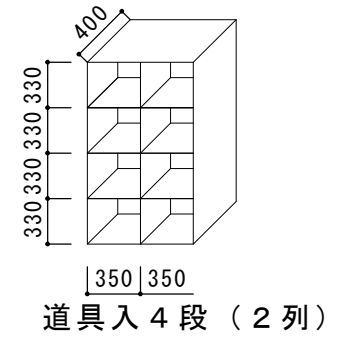
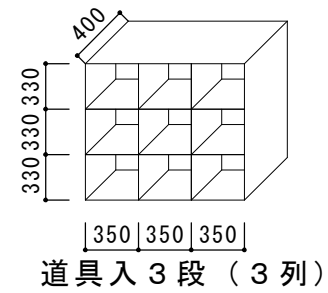
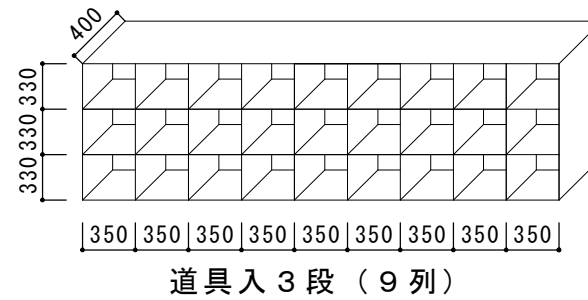
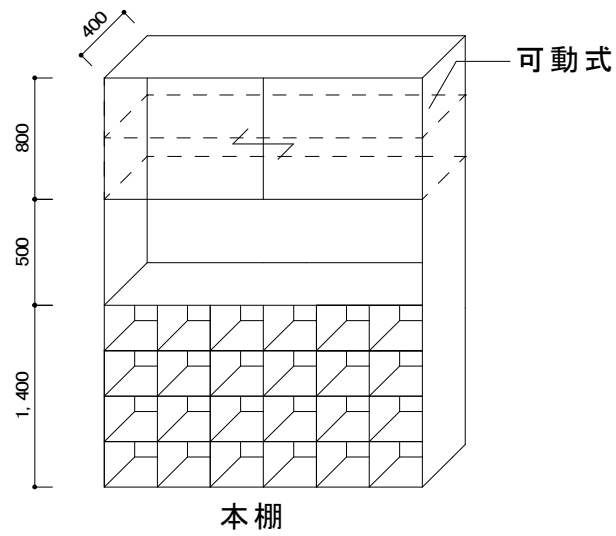
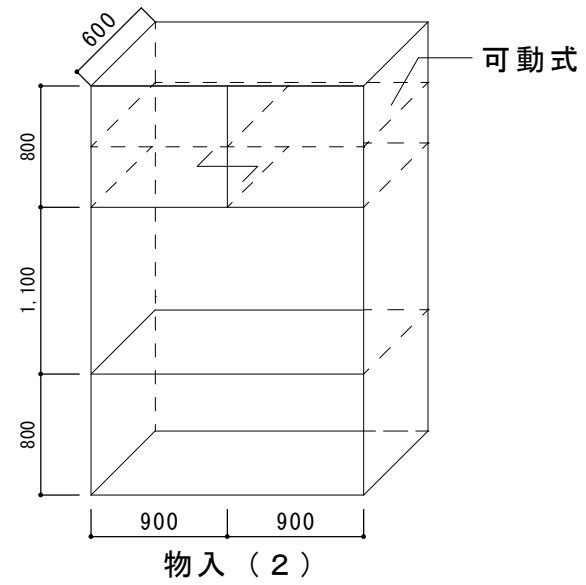
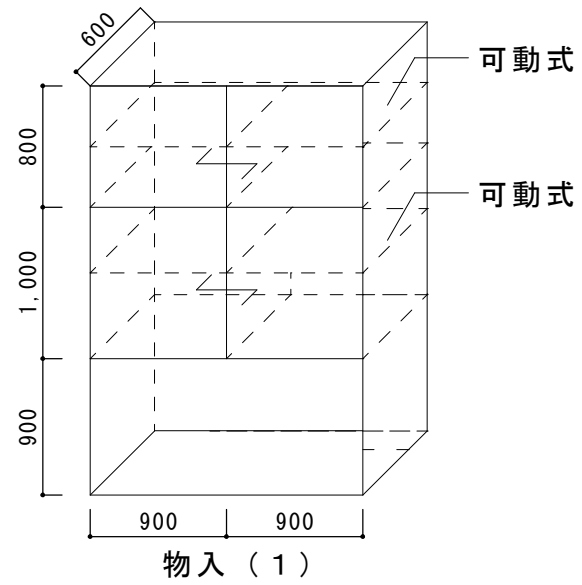
案内図 nonscale

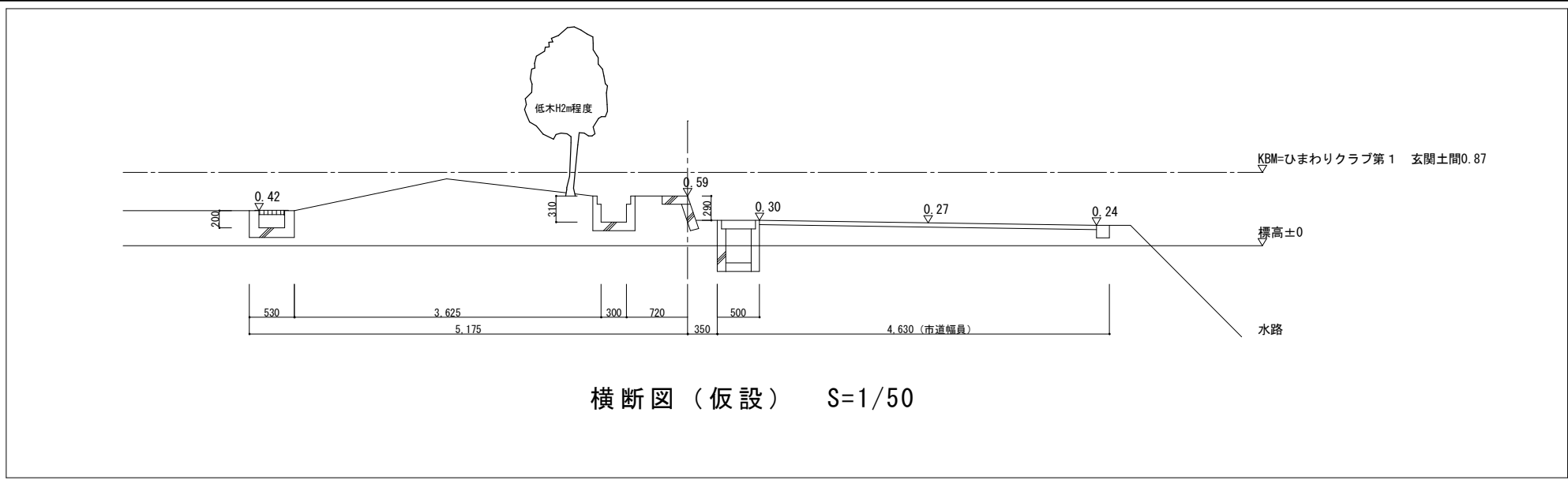


配置図 S=1/600



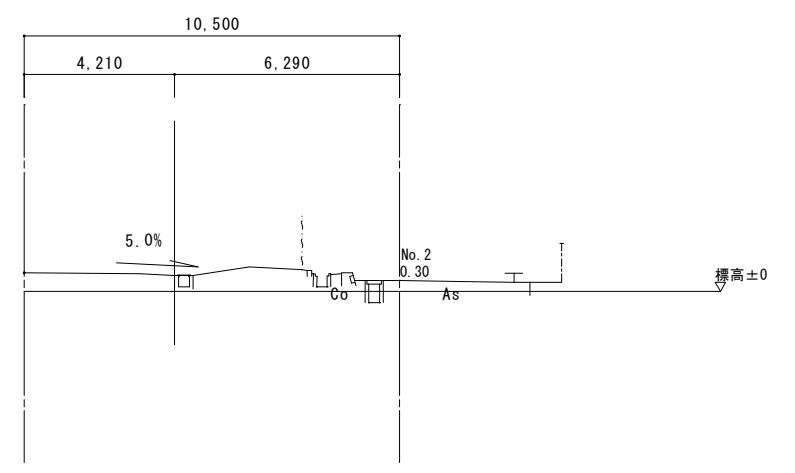
平面図 S=1/100



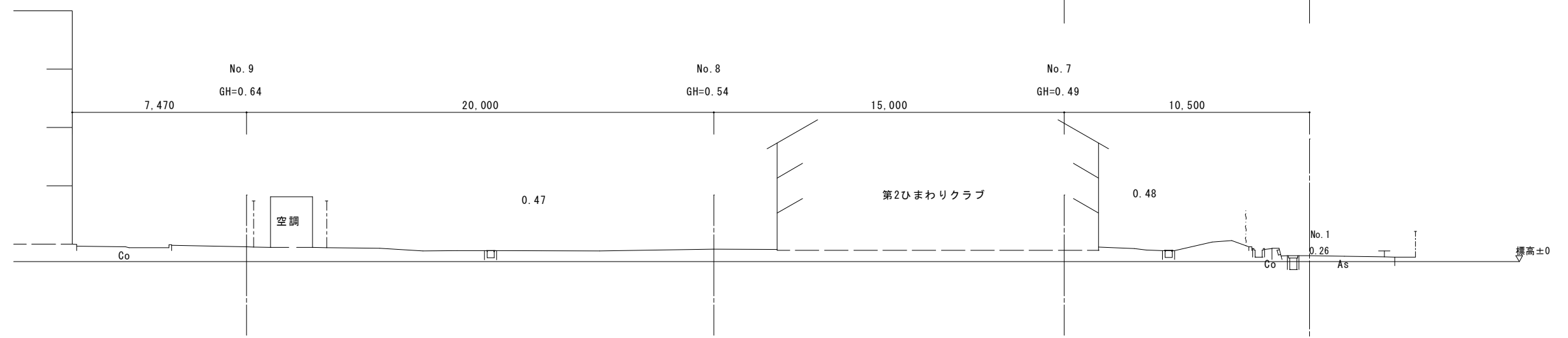


横断面図 (仮設) S=1/50

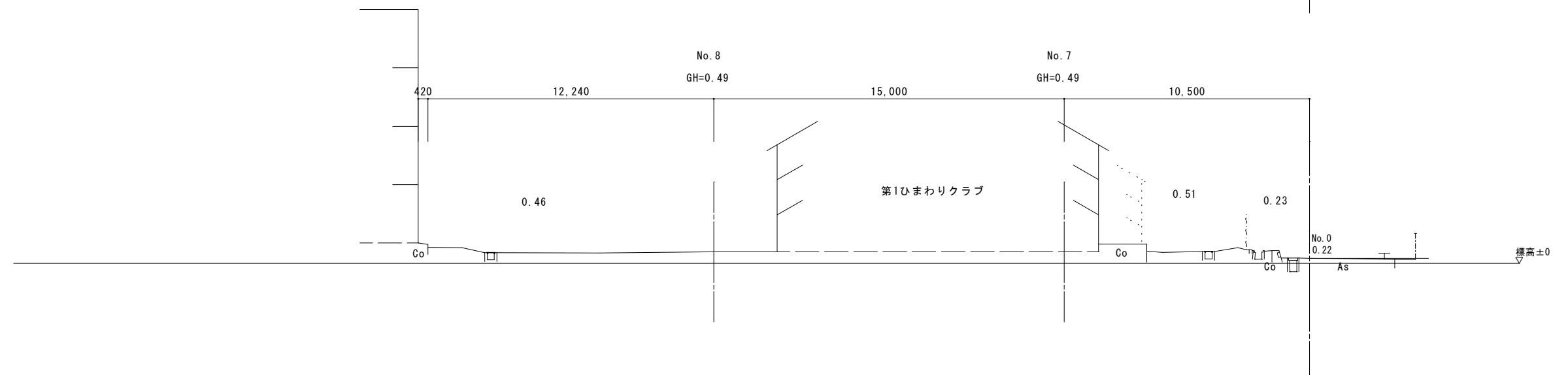
NO. 2横断面図



NO. 1横断面図



NO. 0横断面図



【電気設備工事特記仕様書】

(1) 幹線設備

- ・電力の引込は、既存引込柱に設置されている開閉器盤(L-0)から行うこと。
- ・開閉器盤(L-0)に必要な改造又は取替を行うこと。
- ・幹線は、EM-CETケーブルとすること。屋外露出部分はHIVE管にて保護すること。
- ・電圧降下は、内線規程によること。
- ・需要率は、100%とすること。
- ・配線の許容電流は、建築設備設計基準によること。

(2) 電線・電線管類

- ・配線はEMケーブルとする。
- ・隠蔽配線を基本とするが、やむを得ず露出する部分は1種金属線びで保護する。
- ・埋設配管は、ケーブル埋設シート(2倍長)を布設する。
- ・防火上主要な間仕切り部分は防火区画処理を施すこと。

(3) 配線器具

- ・換気扇スイッチは確認表示灯付とする。
- ・コンセントは接地極付とする。ただし、以下の機器については接地極・接地端子付コンセントを用意する。
暖冷房機器、扇風機、コピー機、電子レンジ、冷蔵庫、温水器、暖房便座、洗濯機
- ・コンセントの送り端子は使用しない。
- ・遊戯室のコンセント取り付け高さは、350mmとする。
- ・スイッチ取り付け高さは、1100mmとする。

(4) 照明器具

- ・照明器具はLEDとし、照度及び器具の仕様並びに点滅は電気設備諸元表による。
- ・ひまわりクラブ壁面に利用者の動線に配慮した外灯を設置すること。

(5) 分電盤

- ・電灯動力分岐盤を設ける。
- ・電灯分電盤は樹脂製扉付きのホーム分電盤とする。

(6) 光回線配管配線設備

- ・独立の契約(光電話想定)とし、光回線の引込みは最寄りのNTT柱(猿馬場支22)から既存の引込柱に行うこと。(別途NTT工事)
- ・電話機の設置は別途工事とし、引込経路及び引込口から事務室までの配管は本工事で行う。
- ・光モデムから電話受口までの配管配線を行う。
- ・光モデムから情報用アウトレットまでの配管配線を行う。
- ・電話受口はモジュージャック(6極4芯)とする。
- ・電話機及び情報端末を事務室中央で有線にて使用できるようにすること。

(7) ドアホン設備

- ・独立のドアホンシステムとする。
- ・ドアホンは内線通話が可能なものとし、親機(事務室)、子機(玄関)、増設スピーカー(遊戯室)の設置及び各機器間の配線を行う。
- ・遊戯室の増設スピーカーは、来客時に音と光でお知らせできるものとする。

(8) テレビ共同受信設備

- ・UHFアンテナを設置し、直列ユニット(CS-7F)への配管配線を行う。
- ・直列ユニットの送り端子は使用しない。

(9) 法令用途

- ・建築基準法 : 児童福祉施設(別表第一(二)) 必要箇所に非常照明を設置すること。
- ・消防法 : (15)項 事務室(令別表第1) 必要箇所に非常警報、消火器を設置すること。

電気設備諸元表

室名	照明			分電盤	コンセント・電源		電話用 アウトレツ ト	情報用 アウトレツ ト	ドアホン	テレビ端子
	設計照度 (lx)	照明器具仕様	スイッチ		100V	200V (エアコン用)				
屋外照明 ※1		屋外防雨型 (HID250W相当)	自動点滅器 及びタイマー		○					
風除室		屋外防雨型	タンプラススイッチ 消遅れ(3分)		○				○(子)	
玄関・ホール	200	直付, 下面開放	タンプラススイッチ		○					
事務室	500	直付, 下面開放	タンプラススイッチ	○	○	○	○	○	○(親)	
遊戯室	400	埋込, ルーバ付 ポリカーボネート	タンプラススイッチ		○	○			○(増)	
学習室	500	直付, 下面開放	タンプラススイッチ		○	○				○
男子便所	150	直付, 下面開放	タンプラススイッチ		○					
女子便所	150	直付, 下面開放	タンプラススイッチ		○					

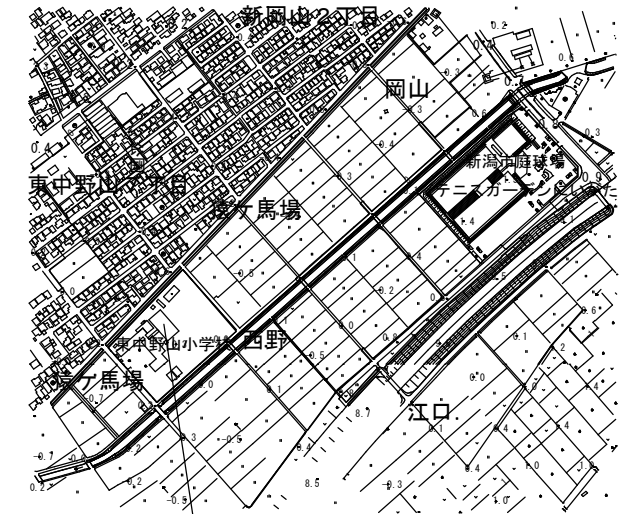
※1 屋外照明は2台設置

工事概要

工事名称	東中野山ひまわりクラブ第4建設工事
建設場所	新潟市東区猿ヶ馬場 地内
地域・地区	市街化調整区域
防火地域	建築基準法第22条地域
容積率	200%
建ぺい率	60%
敷地面積	630.462㎡

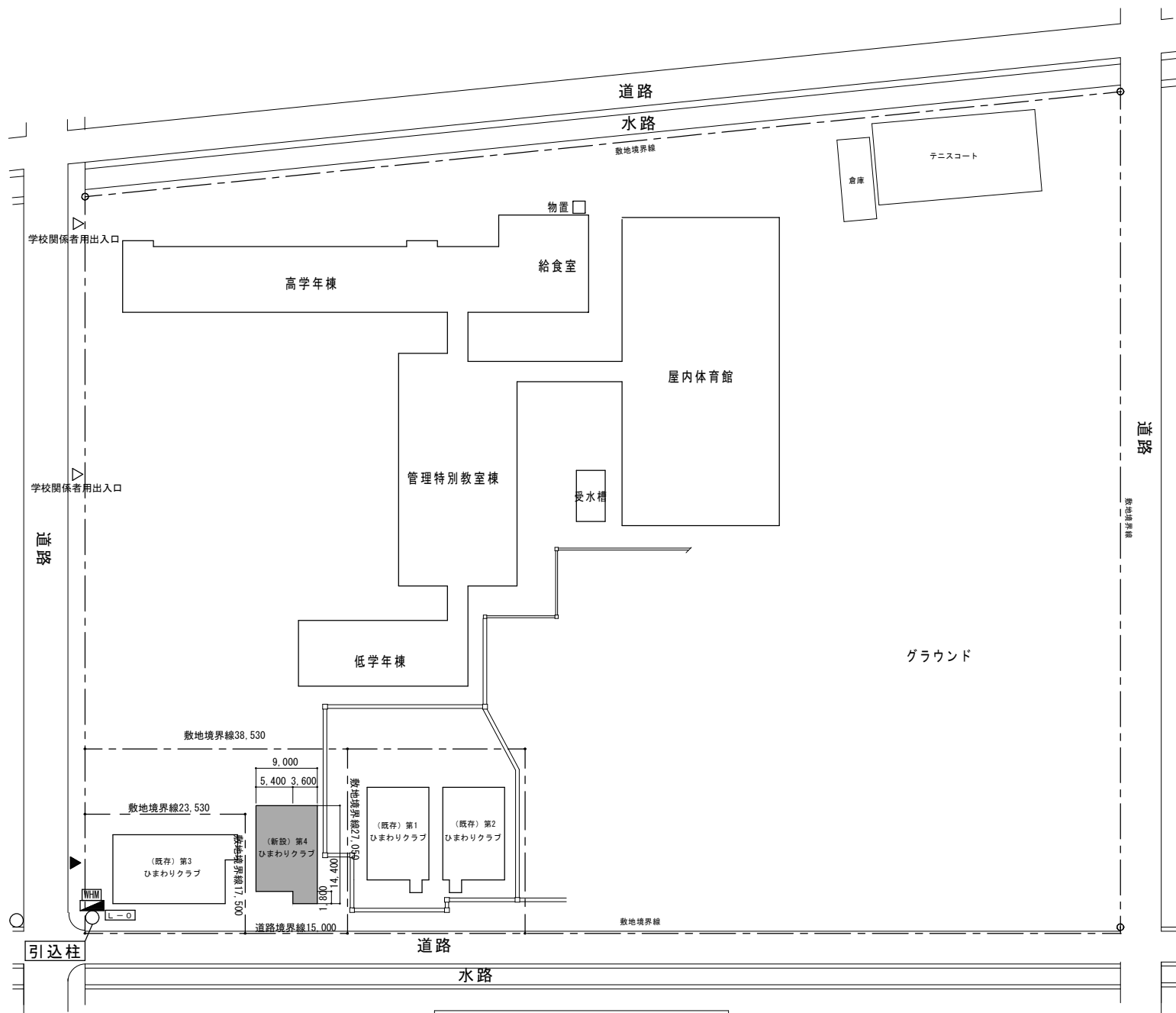
電気設備工事概要

- ・電力の引込は、既存引込柱に設置されている開閉器盤(L-O)から行うこと。
- ・開閉器盤(L-O)に必要な改造又は取替を行うこと。
- ・光回線の引込は、最寄りのNTT柱(猿馬場支22)から行うこと。(別途NTT工事)
- ・ひまわりクラブ壁面に利用者の動線に配慮した外灯を設置すること。

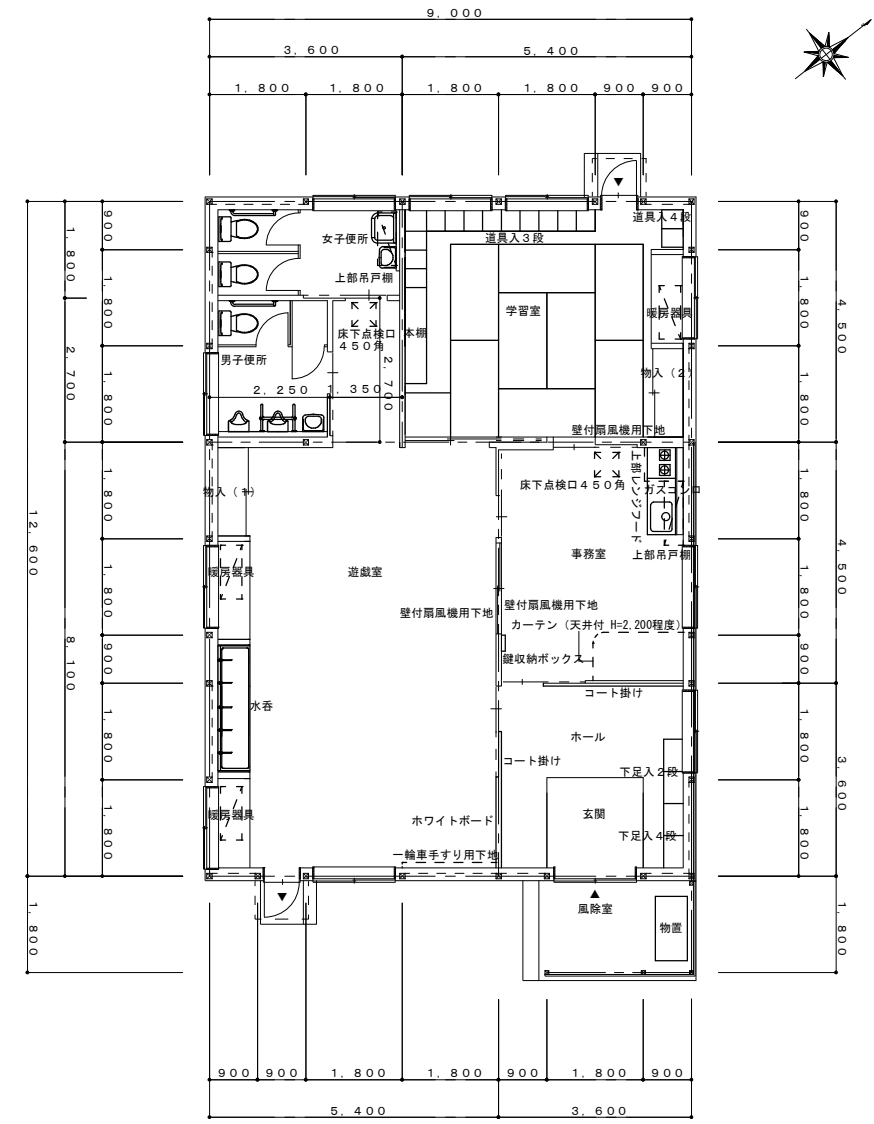


工事場所：東中野山小学校

案内図 nonscale



配置図 S=1/600



平面図 S=1/100

4. 排水設備

適用	仕様	
○	建物外放流先	
○	汚水	・直放流下水道 ・合併処理浄化槽 ○単独処理浄化槽
○	雑排水	・直放流下水道 ・合併処理浄化槽 ○側溝
○	排水管取り出し方法	・公道部新規 ・公設樹に接続(別図参照) ○敷地内既設(別図参照)
	公設樹新設の場合に必要な手続きは、受注者が遅滞なく行う。必要に応じ、監督員と協議を行う。	
○	樹	※小口径塩ビ樹(インバート樹)
○	樹蓋	○塩ビ製 ・インターロッキングブロック用化粧蓋300角(スライド開閉式、5kN)(別図歩道部) ○耐荷重仕様(別図駐車場部)
○	自然流下(重力排水)部分については、下水道推奨基準を確保する。	
○	排水設備設置等確認申請手続きは、受注者が遅滞なく行う。	
○	中継ポンプ槽を使用しても良い。	

5. 雨水設備

適用	仕様	
○	雨水配管接続先	○敷地内側溝 ・敷地内雨水樹 ・敷地内汚水樹(合流) ・雨水浸透樹 ・その他()
○	樹	※小口径塩ビ樹(インバート樹) ・小口径塩ビ樹(浸透樹)
○	樹蓋	○塩ビ製 ・インターロッキングブロック用化粧蓋300角(スライド開閉式、5kN)(別図歩道部) ・耐荷重仕様

6. 冷暖房設備

適用	仕様																			
○	冷暖房方式	ヒートポンプエアコン (○EHP ・EHP高暖房型) 冷房、暖房共運転できるものを選定する。																		
○	冷媒の種類	※R410-A ※R-32																		
○	室外機	※耐塩害仕様 ※電源は単相とする 設置方法は、(○壁掛け ・平置き)とし、設置位置は、監督員と協議し決定する。 架台は(○溶融亜鉛メッキ(※2種35 ・2種50) ・アルミ製)とする。 室外機を壁掛けとする場合は、転倒防止処置をする。																		
○	リモコン	※ワイヤレスリモコン ・ワイヤードリモコン																		
○	FF式温風暖房機(ガス)	燃料種別 (・都市ガス ○プロパンガス) 付属品 (※鍵付操作パネル ※吹出口ガード ※SUS製排気筒保護ガード(※1階に設置する機器 ・すべて))																		
○	FF式温風暖房機(石油)	燃料種別 (※灯油(オイルタンクから配管にて暖房機に接続する方式とする。)) 付属品 (※鍵付操作パネル ※吹出口ガード ※SUS製排気筒保護ガード(※1階に設置する機器 ・すべて) ※給油バルブセット ※バルブボックス付ストーブ台)																		
○	オイルタンク	容量 ※198L 材質 ※SUS304製 付属品 (※油量計 ※ストレーナーバルブ ※水抜きアダプター)																		
○	玄関脇(風除室など)に給油小出バルブ(バルブカバー、鍵付き)を設置する。																			
○	設計温湿度条件は下記表によるものとし、換気負荷は0として熱負荷計算を行い、冷暖房機器の能力を選定する。																			
	区分	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">外気</th> <th colspan="2">室内</th> </tr> <tr> <th>乾球温度</th> <th>相対湿度</th> <th>乾球温度</th> <th>相対湿度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>33.6℃</td> <td>57.4%</td> <td>28.0℃</td> <td>成行き</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>-1.2℃</td> <td>76.8%</td> <td>20.0℃</td> <td>成行き</td> </tr> </tbody> </table>	外気		室内		乾球温度	相対湿度	乾球温度	相対湿度	夏期	33.6℃	57.4%	28.0℃	成行き	冬期	-1.2℃	76.8%	20.0℃	成行き
外気		室内																		
乾球温度	相対湿度	乾球温度	相対湿度																	
夏期	33.6℃	57.4%	28.0℃	成行き																
冬期	-1.2℃	76.8%	20.0℃	成行き																
○	屋外露出の冷媒配管の保温外装は保温化粧ケース(樹脂製)とする。																			
○	室内機は高性能フィルター付きのものを選定する。																			

7. 換気設備

適用	仕様													
○	各室諸元表の「換気形態」の種別により、下記表による換気設備を設けること													
	換気形態	<table border="1"> <thead> <tr> <th>換気形態</th> <th>有効換気量(m³/h)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>30 × 居室の床面積 × 0.2人/m²</td> <td>居室の人員密度</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>40 × k × Q</td> <td>酸素消費量</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>容積m³ × 15回/h</td> <td>必要換気回数</td> </tr> </tbody> </table>	換気形態	有効換気量(m ³ /h)	備考	①	30 × 居室の床面積 × 0.2人/m ²	居室の人員密度	②	40 × k × Q	酸素消費量	③	容積m ³ × 15回/h	必要換気回数
換気形態	有効換気量(m ³ /h)	備考												
①	30 × 居室の床面積 × 0.2人/m ²	居室の人員密度												
②	40 × k × Q	酸素消費量												
③	容積m ³ × 15回/h	必要換気回数												
		k : 燃料の単位燃焼量当たりの理論廃ガス量[m ³ /kW・h] Q : 実状に応じた燃料消費量[kW]												
○	換気形態①の換気扇は、24時間換気スイッチ付とする。													
○	5号ガス湯沸器に、換気扇連動スイッチを設置する。													
○	建築基準法(シックハウス対策)に定める居室に、必要な給気設備を設置する。													

8. ガス設備

適用	仕様	
○ ガス種別	・都市ガス ○プロパンガス	
ガス管取り出し方法	・公道部新規 ・敷地内既設管（別図参照） 取り出し位置は、ガス供給事業者の規定によるほか、監督員と協議し決定する。	
○ メーター及び調整器	・ガス事業者貸与品 ○本工事設置品 設置位置は、監督員と協議し決定する。	
○ 事務室内にガス漏れ警報器を設置すること。（プロパンガスの場合）		
○ その他記載なき事項については、ガス供給事業者の規定による。		

9. その他特記事項

適用	仕様
○	防火上主要な間仕切り壁を貫通する配管及びダクトは、建築基準法施行令第112、113、114条による構造とすること。

◆各室諸元表

室名	水栓金具・他			冷暖房			暖房			換気形態	備考		
	器具名称	数量		方式	台数		方式	台数					
		1階	2階		合計	1階		2階	合計			1階	2階
事務室	シングルレバー混合栓	1		1	EHP	1		1			①		
	5号ガス給湯器（先止め）	1		1							②		
学習室	単水栓	なし	なし		EHP	1		1	FF式	1	1	①	水呑場なし
遊戯室	単水栓（吐水口回転型）	1		1	EHP	2		2	FF式	2	2	①	
	単水栓（自動水栓）	4		4									
トイレ	<別途トイレ衛生器具諸元表による>											③	
屋外	単水栓（キー式）	1		1									設置位置は協議とする。
	不凍水栓柱	1		1									
	ガーデンパン	1		1									

※冷暖房機の台数は参考値とする。

※冬期の暖房には、FF式温風暖房機を使用するものとする。

◆トイレ衛生器具諸元表

	階数	洋風便器	小便器	手洗器	鏡	掃除流し	備考
女子トイレ	1階	2		1	1	1	
	2階						
男子トイレ	1階	1	2	1	1		
	2階						
合計		3	2	2	2	1	

◆ガス設備諸元表（FF式温風暖房機がガス焚きの場合）

室名	ガス設備
事務室	湯沸し器用ガス栓
学習室	FF式温風暖房機用ガス栓
遊戯室	FF式温風暖房機用ガス栓

◆ガス設備諸元表（FF式温風暖房機が灯油焚きの場合）

室名	ガス設備
事務室	湯沸し器用ガス栓

地盤調査報告書

東中野山ひまわりクラブ 第3整備工事

2017年12月11日

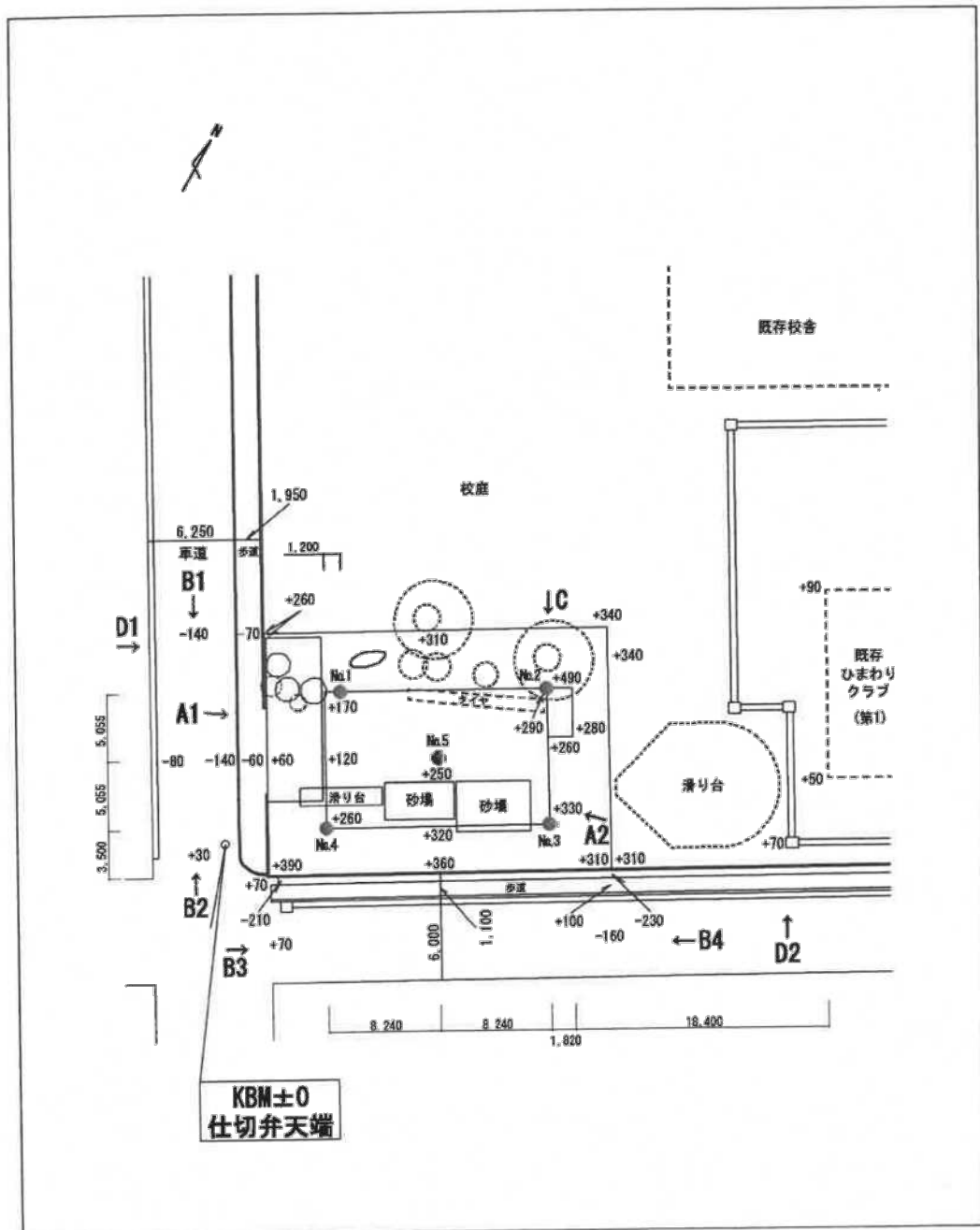
大和ランテック株式会社 関東支店

千葉県船橋市山野町47-2

047-420-9001

047-420-9002

4. 調査敷地状況



作成日：平成29年12月12日

5. 調査結果考察

物件概要

物件名：東中野山ひまわりクラブ 第2整備工事

会社名：大和ランテック株式会社

調査日：平成29年12月7日 (木)

考察者：安齋 清貴

調査方法：スウェーデン式サウンディング試験

住所：千葉県船橋市山野町47-2

TEL：047-420-9001 FAX：047-420-9002

基礎工法選定における条件設定

条件設定	<input type="checkbox"/> 木造 <input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨 <input type="checkbox"/> 他 () 1階				計画接地圧	50kN/m ²
	設計GL	調査KBM+250mm(仮定)	基礎形状	布基礎	基礎根入れ	350mm(仮定)
	盛土厚	無し	建物長辺	16.4m	建物短辺	10.1m

選定工法

<input type="checkbox"/> 直接基礎	<input type="checkbox"/> 50KN/m ² 布基礎 <input type="checkbox"/> 30KN/m ² 布基礎 <input type="checkbox"/> 20KN/m ² べた基礎 <input type="checkbox"/> その他()
<input checked="" type="checkbox"/> 地盤補強工事	<input type="checkbox"/> 浅層混合処理工法 <input type="checkbox"/> 深層混合処理工法 <input checked="" type="checkbox"/> 小口径鋼管工法 <input type="checkbox"/> その他()
<input type="checkbox"/> 再調査・追加調査	()

考察

○ロケーション

目的지는、周囲を南東側に水路が有る「盛土地」に位置する。過去の航空写真から、1974年頃には小学校として造成されており、現状はグラウンドの一角で遊具や樹木が有る。

表土(埋土)	:	地表-1.5~-2.0m付近までに見受けられる。砂質土が主体であり、部分的に礫の混入が見られる。換算 q_{at} は39.6~120KN/m ² 程度を示し、全体的には締りは良い。
粘性土	:	埋土下に堆積する自然堆積地盤。 W_{sw} 0.5~1.0KN自沈を含み軟弱な状態である。層厚は概ね均質である。
砂	:	地表-6.0m以深に堆積する。上部では換算N値5~10程度を示し、下部では換算N値20以上を示し強反発となる。

◎総合結果

調査結果より、基礎下2mの平均換算支持力は50KN/m²を上回っているが、埋土下の粘性土では W_{sw} 0.5~1.0自沈が見られ軟弱である。また、近隣ボーリングでは腐植土の混入も見られた。前出の内容より、砂層を定着層とする小口径鋼管による地盤補強を提案する。ただし、基礎の仕様や改良の可否については設計者の判断を最優先とする。

*上記条件設定と、その他については一般的な小規模構造物としての基礎工選定です。

*新規の盛土、擁壁を計画される場合、基礎仕様の再検討が必要となりますのでご連絡ください。

*条件設定、建物配置、建築物の変更があった場合には、工法の再検討が必要となりますのでご連絡ください。

管理番号：T-1712005-01

5
1
基
基
基
基
基
a
支

5. 調査結果考察(支持力検討)

東中野山ひまわりクラブ 第2整備工事 支持力(qa)計算書

	1	適用	2	適用	3	適用	4	適用	5	適用
基礎下0.25m	120	○	118.8	○	120	○	120	○	120	○
基礎下0.50m	114	○	120	○	120	○	120	○	120	○
基礎下0.75m	87.6	○	80.4	○	87.6	○	78	○	109.2	○
基礎下1.00m	87.6	○	54	○	56.4	○	39.6	○	63.6	○
基礎下1.25m	92.4	○	58.8	○	106.8	○	15	○	58.8	○
基礎下1.50m	15	○	70.8	○	85.2	○	15	○	30	○
基礎下1.75m	34.8	○	30	○	22.5	○	15	○	15	○
基礎下2.00m	34.8	○	15	○	34.8	○	30	○	37.2	○
average	73.3	布基礎	68.5	布基礎	79.2	布基礎	54.1	布基礎	69.2	布基礎
支持力判定	OK (qa>50KN/m ²)		OK (qa>50KN/m ²)		OK (qa>50KN/m ²)		OK (qa>50KN/m ²)		OK (qa>50KN/m ²)	

	適用	適用	適用	適用	適用
基礎下0.25m					
基礎下0.50m					
基礎下0.75m					
基礎下1.00m					
基礎下1.25m					
基礎下1.50m					
基礎下1.75m					
基礎下2.00m					
average	布基礎	布基礎	布基礎	布基礎	布基礎
支持力判定					

○ : 正常な値として支持力計算に利用した

× : 異常値として支持力計算から除外した(盛土内混入物と想定される値、または表層掘削部)

MAX	79.2	kN/m ²
MIN	54.1	kN/m ²
AVE	68.8	kN/m ²

6. 周辺状況チェックシート

	チェック項目	状況
周辺 状況	基本資料	<input checked="" type="checkbox"/> 地形図 <input type="checkbox"/> 航空写真 <input type="checkbox"/> 地質図 <input checked="" type="checkbox"/> 地盤図 <input type="checkbox"/> 古地図 <input type="checkbox"/> 埋立造成図
	地形による区分	<input type="checkbox"/> 山地 <input type="checkbox"/> 台地 <input type="checkbox"/> 丘陵地 <input type="checkbox"/> 扇状地 <input type="checkbox"/> 自然堤防 <input type="checkbox"/> 砂丘 <input type="checkbox"/> 急斜面の谷低地 <input type="checkbox"/> 三角州 <input type="checkbox"/> 後背湿地 <input type="checkbox"/> 旧河道 <input type="checkbox"/> 潟湖跡 <input type="checkbox"/> 沼 <input type="checkbox"/> 池 <input type="checkbox"/> 干拓地 <input checked="" type="checkbox"/> その他(盛土地)
	地質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 沖積層 (<input type="checkbox"/> 砂礫層 <input checked="" type="checkbox"/> 砂層 <input checked="" type="checkbox"/> 粘性土層) <input type="checkbox"/> 洪積層 (<input type="checkbox"/> 砂礫層 <input type="checkbox"/> 砂層 <input type="checkbox"/> 粘性土層) <input type="checkbox"/> 第三紀層 (<input type="checkbox"/> 砂礫層 <input type="checkbox"/> 砂層 <input type="checkbox"/> 粘性土層) <input type="checkbox"/> その他 ()
	河川・用水路	<input checked="" type="checkbox"/> 有 調査地より(南)の方向(10)m付近に <input type="checkbox"/> 河川・ <input checked="" type="checkbox"/> 水路 <input type="checkbox"/> 無
敷地 状況	敷地経歴	現況 <input type="checkbox"/> 宅地 <input type="checkbox"/> 駐車場 <input type="checkbox"/> 畑 <input type="checkbox"/> 田 <input type="checkbox"/> 更地 <input type="checkbox"/> 山林 <input type="checkbox"/> 沼 <input checked="" type="checkbox"/> その他(小学校) 前歴 <input type="checkbox"/> 宅地 <input type="checkbox"/> 駐車場 <input type="checkbox"/> 畑 <input checked="" type="checkbox"/> 田 <input type="checkbox"/> 更地 <input type="checkbox"/> 山林 <input type="checkbox"/> 沼 <input type="checkbox"/> その他()
	既存建物	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨 <input checked="" type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建 <input checked="" type="checkbox"/> 3階建以上 築年数 推定 年
	地表面	<input checked="" type="checkbox"/> 平坦 <input type="checkbox"/> 起伏 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input checked="" type="checkbox"/> 雑草 <input type="checkbox"/> 土間コン <input type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> その他() 排水状況： <input type="checkbox"/> 良 <input checked="" type="checkbox"/> 悪 湧水： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	敷地内高低差	<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無
	地下埋設物	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 井戸 <input type="checkbox"/> 地下構造物 <input type="checkbox"/> 防空壕 <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 無
	擁壁・土留	<input checked="" type="checkbox"/> 有 [<input type="checkbox"/> 間知ブロック <input checked="" type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> その他()] <input type="checkbox"/> 無
	異常・障害	外壁の亀裂： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 亀裂： <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小 その他() 基礎の亀裂： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 亀裂： <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小 その他() 土間の亀裂： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 亀裂： <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小 その他() その他注意事項()
	地下水	<input type="checkbox"/> 試験水位()m <input type="checkbox"/> 井戸 <input type="checkbox"/> 有 水位()m <input checked="" type="checkbox"/> 無
	前面道路	<input checked="" type="checkbox"/> 舗装 <input type="checkbox"/> 未舗装 <input type="checkbox"/> 舗装工事中 <input type="checkbox"/> その他() 傾斜 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 道路幅 6.2 m 重量制限 <input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無 異常 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 側溝 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> L型 <input checked="" type="checkbox"/> U型 50 cm程度) <input type="checkbox"/> 無
	車両搬入	<input type="checkbox"/> 2トン <input type="checkbox"/> 4トン <input checked="" type="checkbox"/> 8トン <input type="checkbox"/> 大型車 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 手運搬 () m
搬入障害物	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> ブロック塀 <input type="checkbox"/> 万年塀 <input type="checkbox"/> 板塀 <input type="checkbox"/> 大谷石塀 <input type="checkbox"/> 生垣 <input type="checkbox"/> 門柱 <input type="checkbox"/> 法 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
交通障害	一方通行規制： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 進入制限： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 高さ制限： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

備考

7. スウェーデン式サウンディング試験

1. スウェーデン式サウンディング試験結果

2. 換算 N 値一覧表

3. スウェーデン式サウンディング試験一覧表

低地

(土地)

)

路 無

小学校)

)

階建以上

)

無

無

)

)

)

)

無

)

無

無

) m

法 無

スウェーデン式サウンディング試験

調査名	東中野山ひまわりクラブ 第3整備工事	測点番号	1
調査場所	新潟県新潟市東区猿ヶ馬場9地内	調査年月日	2017年12月07日
孔口標高	KBM +0.17 m	最終貫入深さ	7.23 m
孔内水位	孔内 GL-0.20 m	天候	曇り
備考	スクリーポイント径31mm以上使用。		

荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 Nsw	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの 半回転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa KN/m ²
					音感・感触	貫入状況	土質名					
1.00	29.0	0.25	25	116	ジャリジャリ		盛土/砂質土	0.25	116	9.7	99.6	
1.00	51.0	0.50	25	204	ガリガリ		盛土/礫質土	0.50	204	15.6	> 120	
1.00	35.0	0.75	25	140	ジャリジャリ		盛土/砂質土	0.75	140	11.3	114.0	
1.00	24.0	1.00	25	96			盛土/砂質土	1.00	96	8.4	87.6	
1.00	24.0	1.25	25	96			盛土/砂質土	1.25	96	8.4	87.6	
1.00	26.0	1.50	25	104			盛土/砂質土	1.50	104	8.9	92.4	
0.50	0.0	1.75	25	0	スルスル		粘性土	1.75	0	1.5	15.0	
1.00	2.0	2.00	25	8			粘性土	2.00	8	3.4	34.8	
1.00	2.0	2.25	25	8			粘性土	2.25	8	3.4	34.8	
0.75	0.0	2.50	25	0	ストン		粘性土	2.50	0	2.2	22.5	
1.00	5.0	2.75	25	20			粘性土	2.75	20	4.0	42.0	
1.00	4.0	3.00	25	16			粘性土	3.00	16	3.8	39.6	
1.00	3.0	3.25	25	12			粘性土	3.25	12	3.6	37.2	
1.00	13.0	3.50	25	52			粘性土	3.50	52	5.6	61.2	
1.00	13.0	3.75	25	52			粘性土	3.75	52	5.6	61.2	
0.50	0.0	4.00	25	0			粘性土	4.00	0	1.5	15.0	
0.75	0.0	4.25	25	0	スルスル		粘性土	4.25	0	2.2	22.5	
0.75	0.0	4.50	25	0			粘性土	4.50	0	2.2	22.5	
0.75	0.0	4.75	25	0			粘性土	4.75	0	2.2	22.5	
1.00	3.0	5.00	25	12			粘性土	5.00	12	3.6	37.2	
1.00	3.0	5.25	25	12			粘性土	5.25	12	3.6	37.2	
1.00	3.0	5.50	25	12			粘性土	5.50	12	3.6	37.2	
1.00	5.0	5.75	25	20			粘性土	5.75	20	4.0	42.0	
1.00	7.0	6.00	25	28			粘性土	6.00	28	4.4	46.8	
1.00	27.0	6.25	25	108			砂質土	6.25	108	9.2	94.8	
1.00	70.0	6.50	25	280			砂質土	6.50	280	20.7	> 120	
1.00	108.0	6.75	25	432			砂質土	6.75	432	30.9	> 120	
1.00	108.0	7.00	25	432			砂質土	7.00	432	30.9	> 120	
1.00	150.0	7.23	23	652	強反発		砂質土	7.23	652	45.6	> 120	

使用計算式 換算 N 値計算式 : 換算N値の計算式は、稲田式を採用しております。
許容支持力計算式 : 許容支持力の計算式は住品協推奨式 (式2.12.8) を採用しております。

スウェーデン式サウンディング試験

調査名	東中野山ひまわりクラブ 第3整備工事	測点番号	2
調査場所	新潟県新潟市東区猿ヶ馬場9地内	調査年月日	2017年12月07日
孔口標高	KBM +0.29 m	最終貫入深さ	7.71 m
孔内水位	孔内 GL-0.40 m	天候	曇り
備考	スクリーポイント径31mm以上使用。		

算値	許容支持力 qa KN/m ²
9.7	99.6
5.6	> 120
1.3	114.0
8.4	87.6
8.4	87.6
8.9	92.4
1.5	15.0
3.4	34.8
3.4	34.8
2.2	22.5
4.0	42.0
3.8	39.6
3.6	37.2
5.6	61.2
5.6	61.2
1.5	15.0
2.2	22.5
2.2	22.5
3.6	37.2
3.6	37.2
4.0	42.0
4.4	46.8
9.2	94.8
20.7	> 120
30.9	> 120
30.9	> 120
35.6	> 120

荷重 Wsw (kN)	半回転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw	記事			推定柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量 1m当りの半回転数 Nsw	換算 N 値	許容支持力 qa KN/m ²
					音感・感触	貫入状況	土質名					
1.00	8.0	0.25	25	32			盛土/砂質土			4.1	49.2	
1.00	37.0	0.50	25	148			盛土/砂質土			11.9	118.8	
1.00	40.0	0.75	25	160	ジャリジャリ		盛土/砂質土			12.7	> 120	
1.00	21.0	1.00	25	84			盛土/砂質土			7.6	80.4	
1.00	10.0	1.25	25	40			盛土/砂質土			4.6	54.0	
1.00	12.0	1.50	25	48			盛土/砂質土			5.2	58.8	
1.00	17.0	1.75	25	68			盛土/砂質土			6.5	70.8	
1.00	0.0	2.00	25	0	スルスル		粘性土			3.0	30.0	
0.50	0.0	2.25	25	0			粘性土			1.5	15.0	
1.00	3.0	2.50	25	12			粘性土			3.6	37.2	
1.00	0.0	2.75	25	0			粘性土			3.0	30.0	
1.00	0.0	3.00	25	0			粘性土			3.0	30.0	
1.00	7.0	3.25	25	28			粘性土			4.4	46.8	
1.00	3.0	3.50	25	12			粘性土			3.6	37.2	
1.00	2.0	3.75	25	8			粘性土			3.4	34.8	
1.00	0.0	4.00	25	0	ストーン		粘性土			3.0	30.0	
0.50	0.0	4.25	25	0			粘性土			1.5	15.0	
0.75	0.0	4.50	25	0			粘性土			2.2	22.5	
0.75	0.0	4.75	25	0			粘性土			2.2	22.5	
0.75	0.0	5.00	25	0			粘性土			2.2	22.5	
0.75	0.0	5.25	25	0			粘性土			2.2	22.5	
1.00	4.0	5.50	25	16			粘性土			3.8	39.6	
1.00	5.0	5.75	25	20			粘性土			4.0	42.0	
1.00	6.0	6.00	25	24			粘性土			4.2	44.4	
1.00	9.0	6.25	25	36			粘性土			4.8	51.6	
1.00	33.0	6.50	25	132			砂質土			10.8	109.2	
1.00	53.0	6.75	25	212			砂質土			16.2	> 120	
1.00	77.0	7.00	25	308			砂質土			22.6	> 120	
1.00	99.0	7.25	25	396			砂質土			28.5	> 120	
1.00	118.0	7.50	25	472			砂質土			33.6	> 120	
1.00	137.0	7.71	21	652	強反発		砂質土			45.7	> 120	

使用計算式 換算 N 値計算式:換算N値の計算式は、稲田式を採用しております。
許容支持力計算式:許容支持力の計算式は住品協推奨式(式2.12.8)を採用しております。

スウェーデン式サウンディング試験

調査名	東中野山ひまわりクラブ 第3整備工事	測点番号	3
調査場所	新潟県新潟市東区猿ヶ馬場9地内	調査年月日	2017年12月07日
孔口標高	KBM +0.33 m	最終貫入深さ	7.23 m
孔内水位	孔内 GL.-0.70 m	天候	曇り
備考	スクリーポイント径31mm以上使用。		

荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 Nsw	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量 1m 当りの 半回転数 Nsw	換算 N 値	許容 支持力 qa KN/m ²
					音感・感触	貫入状況	土質名					
1.00	23.0	0.25	25	92	ジャリジャリ		盛土/砂質土		0 0.25 0.50 0.75 1.00	80 100 150 200 250	8.1	85.2
1.00	86.0	0.50	25	344	ジャリジャリ		盛土/砂質土				25.0	> 120
1.00	39.0	0.75	25	156	ジャリジャリ		盛土/砂質土				12.4	> 120
1.00	24.0	1.00	25	96			盛土/砂質土				8.4	87.6
1.00	11.0	1.25	25	44			盛土/砂質土				4.9	56.4
1.00	32.0	1.50	25	128			盛土/砂質土				10.5	106.8
1.00	23.0	1.75	25	92			盛土/砂質土				8.1	85.2
0.75	0.0	2.00	25	0		ストン	粘性土				2.2	22.5
1.00	2.0	2.25	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	1.0	2.50	25	4			粘性土				3.2	32.4
1.00	2.0	2.75	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	1.0	3.00	25	4			粘性土				3.2	32.4
1.00	2.0	3.25	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	4.0	3.50	25	16			粘性土				3.8	39.6
1.00	14.0	3.75	25	56	ジャリジャリ		粘性土				5.8	63.6
1.00	0.0	4.00	25	0		ストン	粘性土				3.0	30.0
0.75	0.0	4.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0.0	4.50	25	0		スルスル	粘性土				3.0	30.0
0.75	0.0	4.75	25	0			粘性土				2.2	22.5
0.75	0.0	5.00	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	2.0	5.25	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	4.0	5.50	25	16			粘性土				3.8	39.6
1.00	5.0	5.75	25	20			粘性土				4.0	42.0
1.00	6.0	6.00	25	24			粘性土				4.2	44.4
1.00	15.0	6.25	25	60			砂質土				6.0	66.0
1.00	26.0	6.50	25	104			砂質土				8.9	92.4
1.00	46.0	6.75	25	184			砂質土				14.3	> 120
1.00	78.0	7.00	25	312			砂質土				22.9	> 120
1.00	138.0	7.23	23	600		強反発	砂質土				42.2	> 120

使用計算式 換算 N 値計算式:換算N値の計算式は、稲田式を採用しております。
許容支持力計算式:許容支持力の計算式は住品協推奨式(式2.12.8)を採用しております。

スウェーデン式サウンディング試験

調査名	東中野山ひまわりクラブ 第3整備工事	測点番号	4
調査場所	新潟県新潟市東区猿ヶ馬場9地内	調査年月日	2017年12月07日
孔口標高	KBM +0.26 m	最終貫入深さ	7.72 m
孔内水位	孔内 GL.-0.60 m	天候	曇り
備考	スクリーポイント径31mm以上使用。		

算値	許容支持力 qa KN/m ²
8.1	85.2
5.0	> 120
2.4	> 120
8.4	87.6
4.9	56.4
0.5	106.8
8.1	85.2
2.2	22.5
3.4	34.8
3.2	32.4
3.4	34.8
3.2	32.4
3.4	34.8
3.8	39.6
5.8	63.6
3.0	30.0
2.2	22.5
3.0	30.0
2.2	22.5
2.2	22.5
2.2	22.5
3.4	34.8
3.8	39.6
4.0	42.0
4.2	44.4
6.0	66.0
8.9	92.4
14.3	> 120
22.9	> 120
42.2	> 120

荷重 Wsw (kN)	半回転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw	記事			推定柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量 1m 当りの半回転数 Nsw	換算 N 値	許容支持力 qa KN/m ²
					音感・感触	貫入状況	土質名					
1.00	14.0	0.25	25	56	ジャリジャリ		盛土/砂質土				5.7	63.6
1.00	38.0	0.50	25	152			盛土/砂質土				12.1	> 120
1.00	55.0	0.75	25	220			盛土/砂質土				16.7	> 120
1.00	20.0	1.00	25	80			盛土/砂質土				7.3	78.0
1.00	4.0	1.25	25	16			盛土/砂質土				3.0	39.6
0.50	0.0	1.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0.0	1.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0.0	2.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
1.00	0.0	2.25	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	0.0	2.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	2.0	2.75	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	4.0	3.00	25	16			粘性土				3.8	39.6
1.00	6.0	3.25	25	24			粘性土				4.2	44.4
1.00	2.0	3.50	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	0.0	3.75	25	0		ストン	粘性土				3.0	30.0
0.50	0.0	4.00	25	0		ストン	粘性土				1.5	15.0
0.50	0.0	4.25	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0.0	4.50	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0.0	4.75	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.50	0.0	5.00	25	0			粘性土				1.5	15.0
0.75	0.0	5.25	25	0			粘性土				2.2	22.5
1.00	0.0	5.50	25	0			粘性土				3.0	30.0
1.00	3.0	5.75	25	12			粘性土				3.6	37.2
1.00	4.0	6.00	25	16			粘性土				3.8	39.6
1.00	13.0	6.25	25	52			砂質土				5.4	61.2
1.00	16.0	6.50	25	64			砂質土				6.2	68.4
1.00	24.0	6.75	25	96			砂質土				8.4	87.6
1.00	46.0	7.00	25	184			砂質土				14.3	> 120
1.00	65.0	7.25	25	260			砂質土				19.4	> 120
1.00	105.0	7.50	25	420			砂質土				30.1	> 120
1.00	131.0	7.72	22	595		強反発	砂質土				41.8	> 120

使用計算式 換算 N 値計算式 :換算N 値の計算式は、稲田式を採用しております。
許容支持力計算式 :許容支持力の計算式は住品協推奨式 (式2.12.8) を採用しております。

スウェーデン式サウンディング試験

調査名	東中野山ひまわりクラブ 第3整備工事	測点番号	5
調査場所	新潟県新潟市東区猿ヶ馬場9地内	調査年月日	2017年12月07日
孔口標高	KBM +0.25 m	最終貫入深さ	7.19 m
孔内水位	孔内 GL.-0.50 m	天候	曇り
備考	スクリーポイント径31mm以上使用。		

荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 Nsw	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの 半回転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa KN/m ²
					音感・感触	貫入状況	土質名					
1.00	30.0	0.25	25	120	ジャリジャリ		盛土/砂質土	0.25	30.0	10.0	102.0	
1.00	62.0	0.50	25	248	ジャリジャリ		盛土/砂質土	0.50	62.0	18.6	> 120	
1.00	69.0	0.75	25	276	ジャリジャリ		盛土/砂質土	0.75	69.0	20.4	> 120	
1.00	33.0	1.00	25	132	ジャリジャリ		盛土/砂質土	1.00	33.0	10.8	109.2	
1.00	14.0	1.25	25	56			盛土/砂質土	1.25	14.0	5.7	63.6	
1.00	12.0	1.50	25	48			盛土/砂質土	1.50	12.0	5.2	58.8	
1.00	0.0	1.75	25	0		ストーン	粘性土	1.75	0.0	3.0	30.0	
0.50	0.0	2.00	25	0			粘性土	2.00	0.0	1.5	15.0	
1.00	3.0	2.25	25	12			粘性土	2.25	3.0	3.6	37.2	
1.00	1.0	2.50	25	4			粘性土	2.50	1.0	3.2	32.4	
1.00	0.0	2.75	25	0			粘性土	2.75	0.0	3.0	30.0	
1.00	2.0	3.00	25	8			粘性土	3.00	2.0	3.4	34.8	
1.00	3.0	3.25	25	12			粘性土	3.25	3.0	3.6	37.2	
1.00	10.0	3.50	25	40			粘性土	3.50	10.0	5.0	54.0	
1.00	3.0	3.75	25	12			粘性土	3.75	3.0	3.6	37.2	
0.75	0.0	4.00	25	0			粘性土	4.00	0.0	2.2	22.5	
0.50	0.0	4.25	25	0			粘性土	4.25	0.0	1.5	15.0	
0.75	0.0	4.50	25	0		スルスル	粘性土	4.50	0.0	2.2	22.5	
0.75	0.0	4.75	25	0			粘性土	4.75	0.0	2.2	22.5	
0.75	0.0	5.00	25	0			粘性土	5.00	0.0	2.2	22.5	
1.00	3.0	5.25	25	12			粘性土	5.25	3.0	3.6	37.2	
1.00	3.0	5.50	25	12			粘性土	5.50	3.0	3.6	37.2	
1.00	3.0	5.75	25	12			粘性土	5.75	3.0	3.6	37.2	
1.00	5.0	6.00	25	20			粘性土	6.00	5.0	4.0	42.0	
1.00	16.0	6.25	25	64			砂質土	6.25	16.0	6.2	68.4	
1.00	39.0	6.50	25	156			砂質土	6.50	39.0	12.4	> 120	
1.00	68.0	6.75	25	272			砂質土	6.75	68.0	20.2	> 120	
1.00	120.0	7.00	25	480			砂質土	7.00	120.0	34.1	> 120	
1.00	136.0	7.19	19	716		強反発	砂質土	7.19	136.0	49.9	> 120	

使用計算式 換算 N 値計算式:換算N値の計算式は、稲田式を採用しております。
許容支持力計算式:許容支持力の計算式は住品協推奨式(式2.12.8)を採用しております。

管理番号:T-1712005-01